# 23年度

# 新年度予算の概要

子どもたちが　夢と誇りを持てる　日本一輝いているまち
を目指して!!

≪目次≫


予算編成のポイントと規模・・・・ 1
歳　入　・・・・・・・・・・・・・ 2
歳　出　・・・・・・・・・・・・・ 3
財政調整基金と市債　・・・・・・ 4
主要事業の概要　・・・・・・・・ 5~22


燕　市

## ≪予算編成のポイント≫

依然として厳しい経済情勢が続く中、産業の活性化に取り組むとともに、教育環境の整備、医療福祉の均衡ある充実を図り、少しでも将来に明るい展望が開けるよう新たな政策を中心に「積極的予算」を編成しました。限られた財源の中、次の６つの施策を柱として、全力で取り組んでいきます。

**【基本施策 1】産業の振興**

～企業や団体のアイディアを政策に変えて実現します!～

**【基本施策 2】未来の燕を担う子どもたちの育成**

～夢に向かってチャレンジしていく子どもたちを応援します!～

**【基本施策 3】医療・福祉の充実**

～子どもから高齢者まで笑顔で暮らせるまちを目指します!～

**【基本施策 4】生活環境・都市基盤の整備**

～快適で住みよい生活環境や
都市基盤の整備などにも計画的に取り組んでいきます!～

**【基本施策 5】行財政改革の推進**

～政策官庁を目指すとともに、効率的な行政運営に努めます!～

**【基本施策 6】燕はひとつプロジェクト事業**

～合併５周年を迎え、燕はひとつプロジェクト事業に取り組みます!～

## ≪予算の規模≫

**◆一般会計の予算規模　355 億 9,100 万円**

**◆燕市全体の予算規模　(一般会計と特別会計の合計です)**
542 億 5,226 万円

| | | |
|---|---|---|
| 一　般　会　計 | | 355 億 9,100 万円 |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 83 億 6,438 万円 |
| | 後期高齢者医療 | 6 億 1,147 万円 |
| | 介護保険事業 | 59 億 6,859 万円 |
| | 公共下水道事業 | 33 億 9,354 万円 |
| | 土地取得 | 2 億 4,783 万円 |
| | 住宅団地造成事業 | 468 万円 |
| | 企業団地造成事業 | 117 万円 |
| | 温泉保養センター | 6,960 万円 |
| 合　　計 | | 542 億 5,226 万円 |

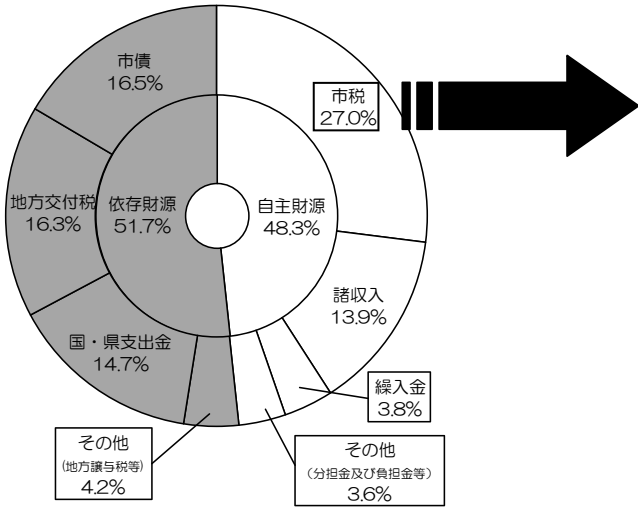
## 歳入

### ≪ポイント≫

自主財源の根幹をなす「市税」は、経済情勢の悪化による個人市民税の減などにより、22 年度と比較して市税全体で２億 1,278 万円・2.2%の減少を見込んでいます。

「国・県支出金」は、子ども手当の３歳未満の増額に伴う国庫負担金の増や、道路改良、小・中学校の改築事業などに伴う国庫補助金の増などにより、22 年度と比較すると 11 億 468 万円・26.7%の増加となっています。

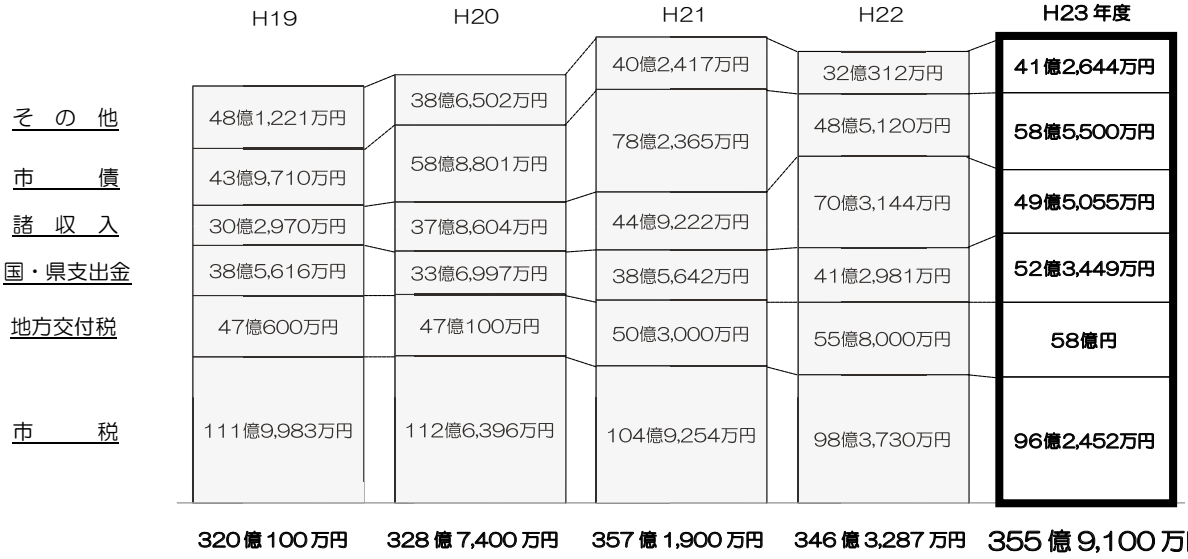
## H23 年度 歳入(収入)の内訳



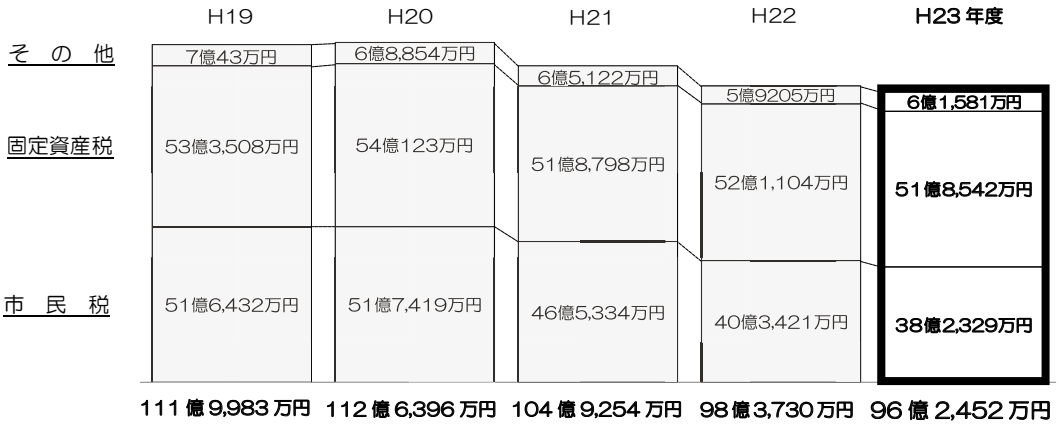

●市税の内訳

| 区　分 | | 予算額 | 構成比 |
|---|---|---|---|
| 市　民　税 | | 38億2,329万円 | 39.7% |
| | 個人市民税 | 30億5,083万円 | 31.7% |
| | 法人市民税 | 7億7,246万円 | 8.0% |
| 固定資産税 | | 51億8,542万円 | 53.9% |
| 軽自動車税 | | 1億7,544万円 | 1.8% |
| 市たばこ税 | | 4億4,037万円 | 4.6% |
| 合　計 | | 96億2,452万円 | 100.0% |

## 歳入の推移（H19～23 年度）




## 市税の推移（H19～23 年度）




### ≪市税の解説≫

市税は、燕市にとって大きな財源となっていますが、景気の低迷などにより年々減少傾向にあります。

市民税と固定資産税で市税全体の 93.6%を占めていますが、市民税においては、22 年度と比較して２億 1,092 万円・5.2%の減となっています。

## 歳出

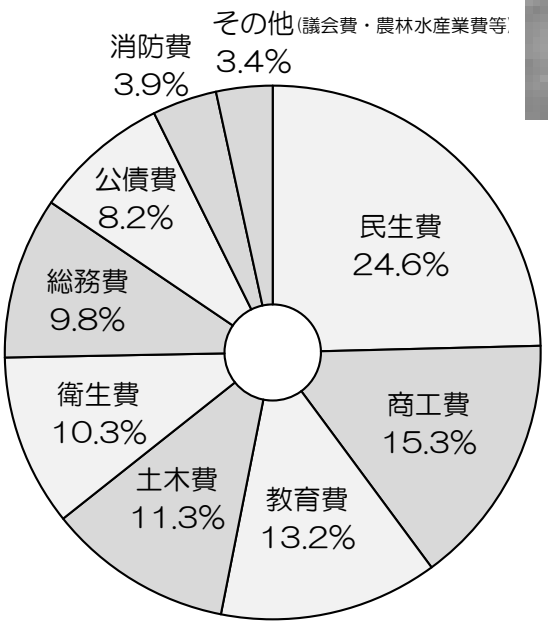
### ≪ポイント≫

歳出全体では、「355 億 9,100 万円」で、22 年度と比較して９億 5,813 万円・2.8%増加の積極的予算となりました。

「産業」では、新たな成長産業への企業支援、新商品新技術開発支援の充実や着地型観光の推進、「教育」では、指導主事増員による教育指導の強化や ICT を活用した学力向上、「医療・福祉」では、すべての子どもを対象とする子ども医療費助成の拡大や障がい者基本計画及び障がい福祉計画を策定し福祉の充実などを図っていきます。そのほか、新エネルギーの普及や住宅リフォーム助成などにも力を注いでいきます。

また、合併５周年を節目とした「燕はひとつプロジェクト事業」にも取り組みます。

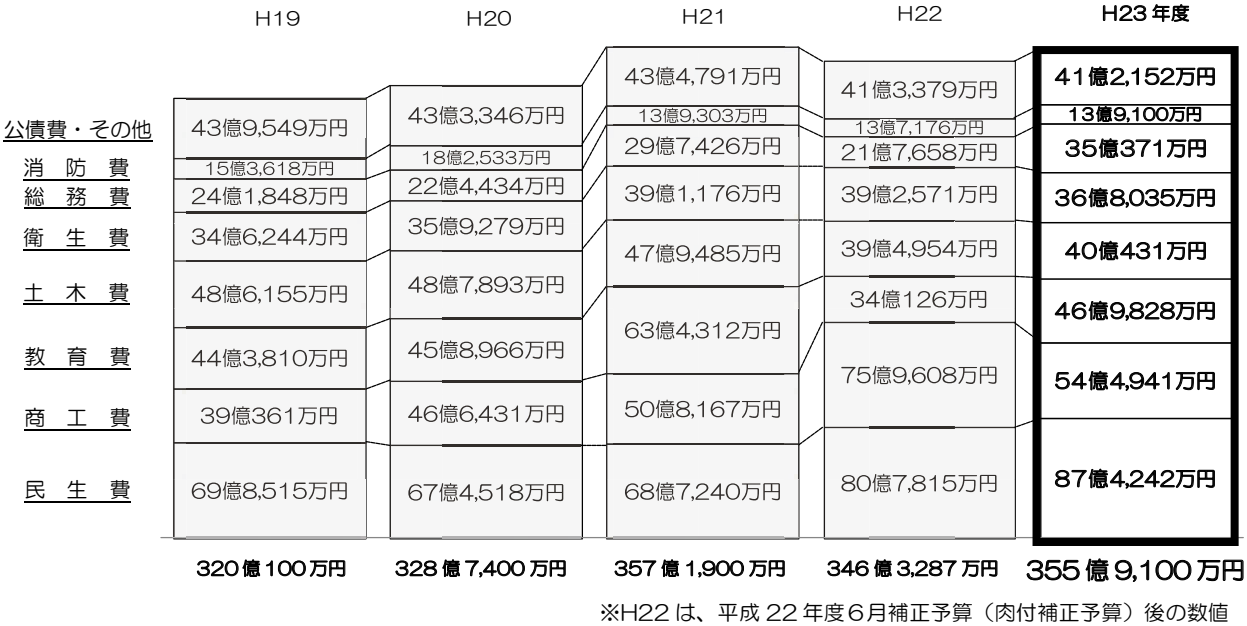
### H23 年度 歳出(支出)の内訳




●内　訳

| 区　　分 | 予算額 |
|---|---|
| 民　　生　　費 | 87億4,242万円 |
| 商　　工　　費 | 54億4,941万円 |
| 教　　育　　費 | 46億9,828万円 |
| 土　　木　　費 | 40億　431万円 |
| 衛　　生　　費 | 36億8,035万円 |
| 総　　務　　費 | 35億　371万円 |
| 公　　債　　費 | 29億2,941万円 |
| 消　　防　　費 | 13億9,100万円 |
| その他（議会費・農林水産業費等） | 11億9,211万円 |
| 合　　計 | 355億9,100万円 |

### 歳出の推移(H19～23 年度)




※H22 は、平成 22 年度６月補正予算（肉付補正予算）後の数値

# 財政調整基金と市債

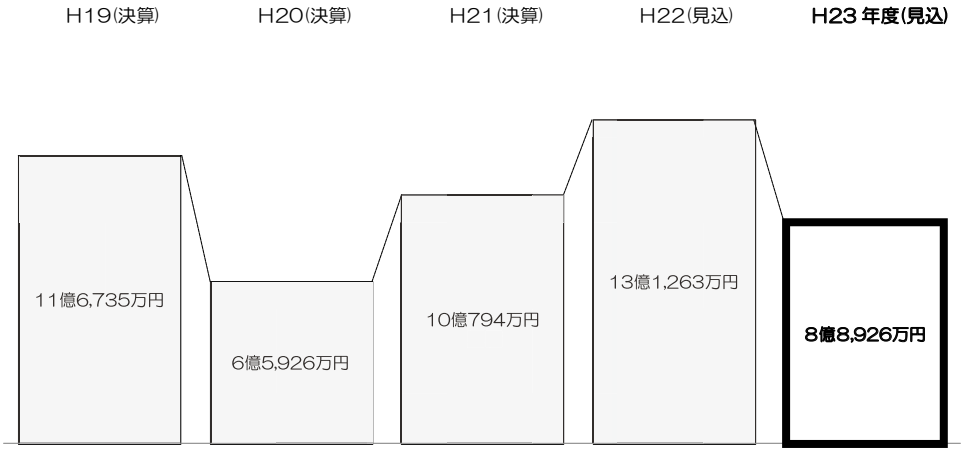
## ◆財政調整基金の残高

**≪ 解 説 ≫**

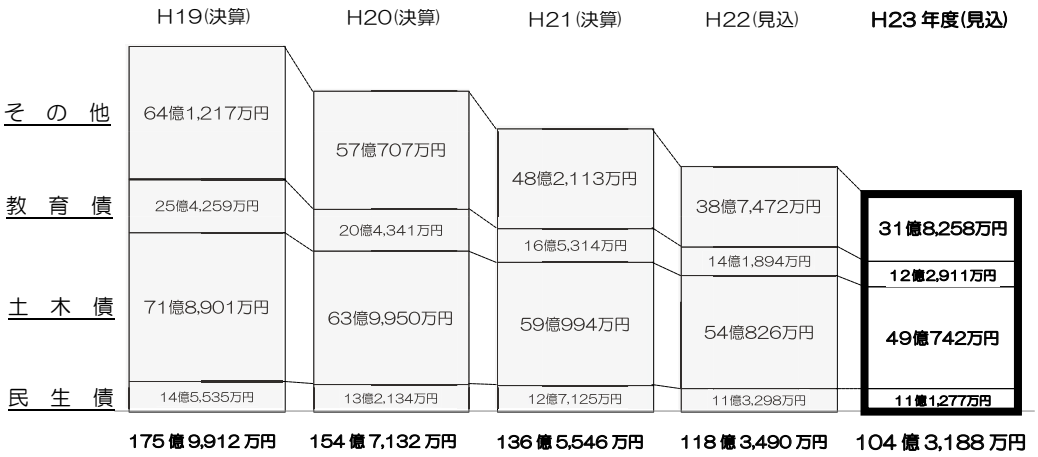
財政調整基金は、財源不足の調整などを行う時に使うことができる基金です。

23 年度は、新規施策に着手するため一般財源が必要となり、約４億円を取り崩す予算となりました。

この結果、23 年度末の財政調整基金残高の見込額は 8 億 8,926 万円となりますが、今後、より一層の行政改革による経費削減や税収の確保、地方交付税額の確定などで一般財源を確保し、23 年度末には積み増しを図る予定です。




## ◆市債の残高




**≪ 解 説 ≫**

市債は、学校や福祉施設・道路などの建設事業を実施するときの資金を、国や金融機関などから借り入れる市の借金に当たります。

23 年度は、八王寺佐渡線道路改良、小・中学校の改築事業などの資金の借り入れを予定しています。

このほかに「臨時財政対策債」と「合併特例債」・「県地域づくり資金地域振興事業債」があります。

「臨時財政対策債」は、本来、国から普通交付税として交付されるべきものですが、その財源不足などにより、特例的に借り入れが認められているものです。23 年度末残高の見込額は 114 億 8,428 万円となりますが、その元利償還金は国の全額負担となります。

「合併特例債」・「県地域づくり資金地域振興事業債」は、新市建設計画に基づいて事業を実施する時に借り入れすることができる資金です。合併後、新市に必要な事業を計画的に実施してきたことにより、23 年度末残高の見込額は 169 億 4,744 万円となりますが、借り入れた「合併特例債」の返済にあたっては、元利償還金の 70%を国が負担することにより、燕市は残りの 30%の負担となり、通常の市債と比べとても有利なものです。新庁舎建設などに活用されます。

# ≪ 主要事業の概要 ≫

6つの基本施策に基づき、23年度実施事業の中から、
主要事業(100項目)の内容を掲載しました。


**基本施策1　産業の振興** …… 6

1.産業活性化への支援
⑴販路開拓・新分野への支援
⑵経営安定化の支援
⑶雇用対策の支援
2.商店街活性化への支援
3.着地型観光の推進
4.建設関連産業の育成
5.農業政策の推進

**基本施策2　未来の燕を担う子どもたちの育成** …… 10

1.子育て・教育の充実
⑴健やかな子どもの育成
⑵教育環境の整備
⑶子育て環境の整備

**基本施策3　医療・福祉の充実** …… 13

1.健康づくりと福祉の充実
⑴医療の充実
⑵健康づくりへの支援
⑶介護・高齢者への支援
⑷障がい者への自立支援

**基本施策4　生活環境・都市基盤の整備** …… 16

1.環境にやさしく、快適で住みやすいまちづくり
⑴環境にやさしい社会の構築
⑵公共交通の整備
⑶防災体制の強化
⑷火葬場・一般廃棄物最終処分場の整備
2.利便性が高く、機能的なまちづくり
⑴道路網の整備
⑵住みよい住環境の整備
3.生涯学習への支援
4.新庁舎建設

**基本施策5　行財政改革の推進** …… 20

1.財政の健全化
2.行政運営の見直し

**基本施策6　燕はひとつプロジェクト事業** …… 22

# 【基本施策１】 産業の振興

～企業や団体のアイディアを政策に変えて実現します～

## 1. ＜産業活性化への支援＞

燕市の基幹産業である「製造業」については、経営安定の金融政策はもちろん、直面する経済危機対策に全力で取り組みます。

23年度は、環境・新エネルギー・医療機器などの「新たな成長産業へチャレンジ」する企業の支援、さらに中国市場をはじめとする「新需要創出・販路開拓」をスタートします。また、新商品新技術開発への支援の充実を図るなど、地域の特性を活かした産業活性化を積極的に目指していきます。

### （1）販路開拓・新分野への支援

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>**成長産業参入支援事業**<br>889万円 | 今後成長が期待されるエネルギー産業、航空機産業及び医療機器産業などにチャレンジする企業を支援するため、新産業開発アドバイザーやコーディネーターを委嘱し、研究会の開催や技術指導等を行います。<br>燕の金属加工産業の特性を活かし、成長産業創出への展開を積極的に推進します。<br>【商工振興課】 |
| 【拡充】<br>**新商品新技術開発支援事業**<br>4,908万円 | 中小企業者の新商品や新技術開発を促進するため、付加価値の高い新商品新技術の開発経費や新分野進出等の研究・調査活動経費の一部に対して補助します。<br>また、補助対象経費に設備導入費、労務費等を追加し、拡充を図りました。<br>・開発支援　補助率　2/3以内　上限額　300万円<br>・研究支援　補助率　1/2以内　上限額　20万円<br>【商工振興課】 |
| 【★新規】<br>**新需要開拓支援事業**<br>553万円 | 地域企業の新需要創出・販路開拓を支援するため、以下の事業に取り組みます。<br>・中国市場への販路開拓プロジェクト<br>・広域連携による情報発信、共同受注体制の強化<br>・首都圏開催の展示会への共同出展<br>・地元産業界と調理の現場とによる、より使いやすい学校給食用食器・設備の共同研究<br>【商工振興課】 |
| **見本市出展小間料補助金**<br>2,000万円 | 市内の中小企業者が開発した新製品等を積極的に情報発信し、新規市場への販路開拓等を行うため、見本市等出展小間料の1/2を補助します。（1小間の補助限度額は10万円）<br>【商工振興課】 |
| **農商工連携産地製品販売推進事業**<br>4,592万円 | 東京都の町田・両国のアンテナショップで、地場産品の展示販売による販路拡大と観光ＰＲを実施します。<br>【商工振興課】 |
| **商工業振興団体事業補助金**<br>1,710万円 | 日本金属洋食器工業組合・日本金属ハウスウェア工業組合・協同組合つばめ物流センター・商工会議所・商工会等の商工業団体が行う、商工業振興事業（新技術・新商品開発事業、販路開拓事業等）の経費の一部に対して、「事業費補助」を行います。<br>【商工振興課】 |

## （2）経営安定化の支援

| | |
|---|---|
| 中小企業融資金貸付事業<br>46億9,940万円 | 企業者の経営基盤の安定と継続的で健全な発展を図るため、中小企業者の運転資金及び設備資金、工場用地の取得費、新製品開発資金等の融資を行います。<br>【商工振興課】 |
| 県信用保証協会保証料補給金<br>6,500万円 | 利用者の負担を軽減し、企業の継続的で健全な発展と振興を図るため、市及び県の制度融資に係る信用保証料の一部または全部に相当する金額を助成します。<br>【商工振興課】 |

## （3）雇用対策の支援

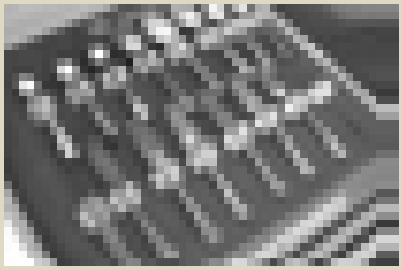
| | |
|---|---|
| 緊急雇用創出事業<br>8,978万円 | 厳しい雇用失業情勢により離職を余儀なくされた失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を提供する13の事業を実施します。（県の緊急雇用創出事業補助金を活用）<br>【商工振興課】 |
| 労働福祉安全対策事業<br>170万円 | 労働環境の改善を図り、労働力の確保や継続者を育成するため、家内労働の作業環境調査及び安全衛生対策の推進・動力プレス機械の自主検査を行います。<br>【商工振興課】 |

# 2. <商店街活性化への支援>

「商業」については、商店街が行う賑わいづくりのイベント支援を継続するとともに、23年度は、「商店元気塾」を開催するなど、個々の商店の魅力づくりや経営強化の支援に取り組みます。

| | |
|---|---|
| 商店街活性化事業<br>220万円 | 商店街の自主的活動を促進し、商店街の活性化を図るため、200mいちびへの助成や商店街の未利用店舗活用、共同駐車場設置、店舗新改装設備等に対する助成を行います。<br>【商工振興課】 |
| 【★新規】<br>商店元気塾開催事業<br>150万円 | 個店の経営力・魅力向上を支援するため、小売商店主を対象に「商店元気塾」を開催します。<br>【商工振興課】 |

## 3. 〈着地型観光の推進〉



金属洋食器や鎚起銅器などの物産や国上山周辺の自然等、燕の特色を生かした産業観光・体験観光・学習観光を積極的に推進していきます。

23年度は、燕市で金属洋食器が製造されて「100周年」という節目の年に当たります。今まで燕市が歩んできた洋食器の歴史等を整理し国内外に情報発信し、モニターツアーの実施等を行いながら、着地型観光の積極的な推進を図ります。

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>ニューツーリズム推進事業<br>250万円 | 体験型産業観光事業を推進するため、市、観光協会、県及び弥彦村が連携し「産業観光戦略会議」を開催します。<br>燕市の自然や金属洋食器等の魅力ある地域資源を活用した、体験型旅行商品の造成を行い、モニターツアーの実施や旅フェア2011（幕張メッセ）に出展するなど、県内外に情報発信し、観光客を増やします。<br>【商工振興課】 |
| 【★新規】<br>金属洋食器産業観光情報発信事業<br>《再掲・緊急雇用創出事業》 1,040万円 | 燕市に金属洋食器の製造が始まって「100周年」にあたることから、金属洋食器を産業観光資源として国内外に情報発信し、誘客宣伝と燕ブランドの推進を図ります。<br>これまで燕市が歩んできた洋食器の歴史や文献等を収集整理し、ガイドブック作成やカトラリー検定資料を作成します。<br>【商工振興課】 |
| 観光協会事業補助金<br>1,801万円 | 今年で70回を迎えるおいらん道中や酒呑童子行列などの集客イベントを通じて、燕市の観光を対外的に発信するため、観光協会事業へ補助します。<br>【商工振興課】 |

## 4. 〈建設関連産業の育成〉

建設関連産業を活性化し、雇用の確保を図るため、「住宅リフォーム助成事業」を実施し、地元企業の受注機会の確保に努めていきます。

| | |
|---|---|
| 住宅リフォーム助成事業<br>5,000万円 | 市内の建築関連業者の工事受注の機会を増進させ、緊急的な経済効果を発揮させるため、個人住宅のリフォーム工事費用の一部を助成します。<br>・工事費用　20万円以上<br>・助成率　工事費用の　10%<br>・助成上限額　10万円<br>【営繕建築課】 |

# 5. 〈農業政策の推進〉

「農業」については、国の新たな農業政策に対応しながら、安全安心な環境保全型農業を推進するとともに、農業基盤整備への取り組み、担い手の育成に努めます。

23年度は、商業・工業と融合した「第6次産業」実現のため、協議会を立上げ新たな商品化を目指します。また、「飛燕舞」をはじめとするブランド農産物の普及を図るとともに、特に「ヤクルトスワローズ」との交流連携による米の販路拡大の検討をスタートします。

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>県央地域6次産業化に向けての検討<br>ゼロ予算事業 | 地域農業の活性化を図ることを目的に、ＪＡ・農家・商工会議所等で構成する「つばめ6次産業化推進協議会」を立ち上げます。<br>燕農産物の生産から加工、販売を融合・連携させるため、専門的サポート体制をつくり、「新たな商品化」に向けた調査・研究を行います。<br>【生産振興課】 |
| 【★新規】<br>中国向け新潟米輸出促進についての検討<br>ゼロ予算事業 | 農産物の販路の開拓・多様化を図るため、県・関係市・農業団体等で組織する「中国向け新潟米輸出促進協議会」に参画し、新潟米の新たな需要拡大に向けた取り組みを検討します。<br>【生産振興課】 |
| 【★新規】<br>農業振興地域整備計画基礎調査<br>345万円 | 農業振興のための各種施策を計画的に実施するため、3地区の「農業振興地域整備計画」を統合し、新たな計画を策定します。<br>そのため、農用地等の面積、土地利用などに関する現況及び将来の見通しについての基礎調査を行います。<br>【農政課】 |
| 町田市交流事業<br>83万円 | 燕市産農産物の販路拡大を図るため、首都圏アンテナショップ「えちご燕物産館町田店」の開設を機に始まった、東京町田市民と「農業体験」を通して交流事業を継続します。<br>【生産振興課】 |
| 村づくり交付金事業<br>2億9,166万円 | 農業用施設の維持管理の軽減と農業生産性の向上を図り、農産物の良好な生産条件を整備するため、国及び県の補助金の交付を受けて、農道及び農業用排水路等の整備を行います。<br>【農政課】 |
| 水田農業構造改革対策事業<br>1億613万円 | 「需要に応じた売れる米づくり」を推進するとともに、燕市水田農業ビジョンに掲げた農産物の「産地化」を目指す農家の取り組みを支援します。また、燕市産コシヒカリのブランド商品（飛燕舞）の確立及び農産物や農産加工品の販路開拓を目指し、首都圏の消費者に情報発信していきます。<br>さらに、「ヤクルトスワローズ」との交流連携による米の販路拡大の検討をスタートします。<br>【生産振興課】 |

# 【基本施策2】 未来の燕を担う子どもたちの育成

～夢に向かってチャレンジしていく子どもたちを応援します～

## 1. <子育て・教育の充実>

燕の未来を担い、次の時代をリードする人材の育成を目指し、学力向上対策の充実を図るとともに、教育立市宣言の具体化に力を入れていきます。

23年度は、集中力の育成向上を図るため「おはようタイム、長善タイム」をスタートします。また指導主事の増員、学校地域支援本部への支援充実、ICT導入校の拡大など、学力向上を目指した学校支援や指導体制の強化を図るとともに、子ども医療費助成の拡充など、子育て環境の整備にも全力を注ぎます。

### (1) 健やかな子どもの育成

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>「つばめおはようタイム」の実施<br>10万円 | 公立の保育園・幼稚園児を対象に、子どもたちの生活のリズムを整え集中力を育成するために、フラッシュカードや絵本の復唱などを行う「おはようタイム」を、朝10分程度実施します。<br>【子育て支援課】 |
| 【★新規】<br>「燕長善タイム」の実施<br>ゼロ予算事業 | 長善館の「学びの心」を子どもたちから習得してもらうため、小・中学校で毎日10分程度の時間を設け、音読や計算学習、郷土のことなどを学ぶ「燕長善タイム」を取り入れ、子どもたちの集中力や学習意欲の向上を目指します。<br>【学校教育課】 |
| 【★新規】<br>長善館学習塾<br>12万円 | 子どもたちの勉学への意欲を向上させるため、長善館史料館と公民館との共催により、小学生を対象に長善館の精神を活かした勉強や生活を体験する「学習塾」を開催します。<br>【生涯学習課】 |
| 【★新規】<br>野球教室開催事業<br>12万円 | 子どもたちや指導者の資質や技術・体力（強い体）の向上を図るため、プロ野球OBの選手による少年野球教室の開催や栄養指導等を行います。<br>【スポーツ振興課】 |
| ときめきスクール推進事業助成金<br>120万円 | 教員の指導力、授業力の向上を図るため、市内小中学校の教員が、県内外の先進校を視察研修することに対して助成します。<br>【学校教育課】 |
| 町田市交流事業<br>23万円 | 学校、家庭、地域の連携協力を促進するとともに、地域全体で学校教育を支援するため、地域の教育力の向上に積極的に取り組んでいる町田市の学校コーディネーターとの交流を実施します。<br>【学校教育課】 |
| 学校支援地域本部推進事業助成金<br>1,000万円 | 子どもたちの健やかな成長や地域全体の教育力の向上を図るため、地域ぐるみで学校を支援する「学校支援地域本部事業」に助成します。<br>【学校教育課】 |

| | |
|---|---|
| 海外都市交流事業<br>(ダンディ･シェボイガン･オーストラリア)<br><br>576万円 | 次世代を担う青少年の国際感覚を豊かにし、有為な人材を育成するとともに、姉妹都市等との友好親善を図ります。23年度は、市内の中学生をオーストラリア及び姉妹都市シェボイガン市へ派遣します。また、姉妹都市ダンディ村からは使節団を受け入れ、学校訪問やホームステイを通じた国際交流を図ります。<br><br>【地域振興課】 |

## （2）教育環境の整備

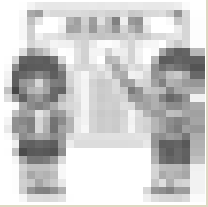
| | |
|---|---|
| 指導主事増員による教育指導の強化<br><br>3,759万円 | 市内小中学校において、より充実した教育を推進するために指導主事を増員し、指導体制を強化します。<br>また、小・中学校を中心に外国語助手による訪問指導を実施し、英語教育の充実を図るとともに、国際理解教育の推進を図ります。<br><br>【学校教育課】 |
| 【拡充】<br>ICT活用事業<br><br>697万円 | 子どもたちの学習意欲を引き出すとともに、基礎学力の定着を目指すため、モデル校においてプロジェクターやスクリーンを使用した、わかりやすい授業を展開します。22年度導入の4校に引き続き、23年度も新たに4校導入します。<br>また、ICT支援員を雇用し、各学校への指導を通してICT機器活用のスキルアップを目指します。<br><br>【学校教育課】 |
| 小学校改築・大規模改造事業<br>（吉田小・分水小・小中川小・吉田南小）<br><br>15億3,720万円 | 「吉田小学校」は、旧校舎を解体し、校舎改築Ⅰ期工事を行います。「分水小学校」は、校舎及び屋内運動場の耐震補強工事等を行います。「小中川小学校」は、校舎の耐震補強及び老朽の大規模改造Ⅰ期工事を行います。「吉田南小学校」は、旧校舎及び屋内運動場等の解体を行います。<br><br>【教育総務課】 |
| 中学校改築・大規模改造事業<br>（吉田中・燕北中）<br><br>5億6,270万円 | 「吉田中学校」は、校舎の耐震補強及び老朽の大規模改造Ⅰ期工事を行います。「燕北中学校」は、屋内運動場改築工事の実施設計を行います。<br><br>【教育総務課】 |
| 【★新規】<br>学校給食用食器更新事業<br><br>700万円 | 学校給食用食器類が古くなったため、市内で製造できるものを検討し、年次計画により入れ替えを行っていきます。<br><br>【学校教育課】 |
| 【★新規】<br>学校給食センター建設基本計画策定事業<br><br>400万円 | 統廃合を含めた市内の学校給食センター建設に向け、基本計画に着手します。<br><br>【学校教育課】 |
| 学校図書館蔵書充実事業<br>《H22 国の経済対策による繰越事業》<br><br>1,050万円 | 知の地域づくりの機運醸成と児童生徒の学習・情報拠点である学校図書館を魅力ある蔵書で充実させるため、図書を購入します。<br><br>【学校教育課】 |

## （3）子育て環境の整備

| | |
|---|---|
| 幼稚園・保育園適正配置の推進<br>ゼロ予算事業 | 望ましい集団教育が可能な環境を整備するため、公立幼稚園、保育園の適正配置を進めます。<br>【子育て支援課】 |
| 子育て支援創生事業<br>501万円 | 地域の子育て力を育むため、子育てにかかわるボランティア等の人材育成や、イクメン講座を継続して父親の育児参加を促すなど、地域の子育て活動の支援を推進します。<br>【子育て支援課】 |
| 病後児保育の検討<br>ゼロ予算事業 | 病気の回復期で集団保育が困難な時期に、保護者が安心して仕事ができる環境を整えるため、就学前までの子どもを対象に、子どもを一時的に預かる病後児保育の検討を継続します。<br>【子育て支援課】 |
| 【★新規】<br>杉名児童館建設事業<br>1億6,515万円 | 小池小学校区の児童を対象に、老朽化が進み、かつ手狭な杉名児童館の環境を改善するため、放課後児童クラブを併設する「杉名児童館」を改築します。<br>【子育て支援課】 |
| 【★新規】<br>放課後児童クラブ室建設事業<br>1,170万円 | 吉田小学校区の児童を対象に、児童クラブの環境整備を進めるため、吉田小学校の改築に合わせ「児童クラブ室」を新設します。<br>【子育て支援課】 |
| 【拡充】<br>子ども医療費助成事業<br>1億6,361万円 | 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、23年4月診療分から、通院にかかる子ども医療費助成の対象年齢を、子どもの人数にかかわらず、すべての子どもを対象に「就学前まで」から「小学校卒業前まで」に拡大します。<br>【保険年金課】 |
| 【★新規】<br>子宮頸がん等ワクチン接種事業<br>（子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌）<br>1億3,105万円 | 予防接種を受けやすい環境整備を図り、市民の健康保持と疾病に対する啓発及び予防を図るため、予防接種費用を助成します。<br>・子宮頸がん予防（HPV）ワクチン接種<br>中学1年生から高校1年生の女子対象に全額助成<br>・ヒブ（インフルエンザ菌ｂ型）ワクチン接種及び小児用肺炎球菌ワクチン接種<br>生後2か月から5歳未満の乳幼児対象に全額助成<br>【健康づくり課】 |
| 【拡充】<br>子ども予防接種事業<br>8,464万円 | 感染症の流行を防ぎ、子どもを病気から守るため、0歳から18歳までの接種該当者に対し、ＢＣＧ、ポリオ、麻しん風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎の予防接種を実施します。<br>また、日本脳炎については、4歳児の追加接種と9歳から10歳児への初回接種が再開されるため、23年度から予防接種を実施します。<br>【健康づくり課】 |

### 『子ども夢基金』活用事業

市民の皆さんからいただいた善意の寄付をもとに、「次世代人材育成推進事業」「子育て支援活動」「青少年健全育成活動」「子どもたちの夢のある活動」を支援するため、23年度中の事業化・メニュー化を目指し、具体的な基金の活用方法を検討します。



# 【基本施策3】 医療・福祉の充実

～子どもから高齢者まで笑顔で暮らせるまちを目指します～

## 1. ＜健康づくりと福祉の充実＞

健康で長生きすることは市民共通の願いであり、「健康づくり100日運動」の推進をはじめ、元気の輪を広げる活動を積極的に展開していきます。

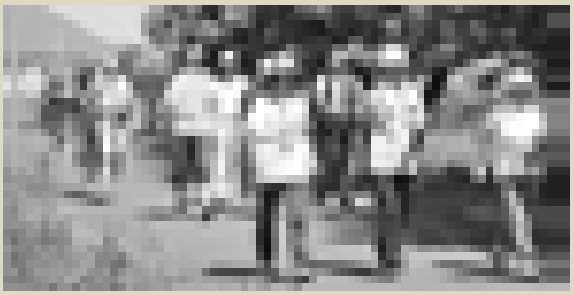
23年度は、すべての子どもを対象とした小学校卒業前までの「子ども医療費助成」の拡充や、子宮頸がん等ワクチン接種の全額助成を行うとともに、新たに特定不妊治療費の補助を行います。また、今後の高齢福祉の在り方について研究をスタートするとともに、介護保険計画・障がい者基本計画を策定し、医療福祉の充実を図ります。

### （1）医療の充実

| | |
|---|---|
| 【拡充】<br>子ども医療費助成事業<br>《再掲》 1億6,361万円 | 子育て世帯の経済的負担を軽減するため、23年4月診療分から、通院にかかる子ども医療費助成の対象年齢を、子どもの人数にかかわらず、すべての子どもを対象に「就学前まで」から「小学校卒業前まで」に拡大します。<br>【保険年金課】 |
| 【★新規】<br>子宮頸がん等ワクチン接種事業<br>（子宮頸がん・ヒブ・小児用肺炎球菌）<br>《再掲》 1億3,105万円 | 予防接種を受けやすい環境整備を図り、市民の健康保持と疾病に対する啓発及び予防を図るため、予防接種費用を助成します。<br>・子宮頸がん予防（HPV）ワクチン接種<br>中学1年生から高校1年生の女子対象に全額助成<br>・ヒブ（インフルエンザ菌ｂ型）ワクチン接種及び小児用肺炎球菌ワクチン接種<br>生後2か月から5歳未満の乳幼児対象に全額助成<br>【健康づくり課】 |
| 【拡充】<br>子ども予防接種事業<br>《再掲》 8,464万円 | 感染症の流行を防ぎ、子どもを病気から守るため、0歳から18歳までの接種該当者に対し、ＢＣＧ、ポリオ、麻しん風しん、三種混合、二種混合、日本脳炎の予防接種を実施します。<br>また、日本脳炎については、23年度から、4歳児の追加接種と9歳から10歳児への初回接種勧奨を再開します。<br>【健康づくり課】 |
| 【★新規】<br>特定不妊治療費補助金<br>400万円 | 特定不妊治療費（体外受精及び顕微授精）について、その費用の一部を補助することにより、経済的負担の軽減を図ります。<br>【健康づくり課】 |
| 妊産婦医療費助成事業<br>852万円 | 少子化対策の一環として、妊産婦の疾病の早期発見・早期治療を促進し、健康の保持及び健全育成を図ることを目的に、妊娠届をした日から出産した翌月末日までの、妊産婦の医療費本人負担額の1/2を助成します。<br>【保険年金課】 |
| ひとり親家庭等医療費助成事業<br>4,396万円 | ひとり親家庭の保健の向上と福祉の増進を図るため、ひとり親家庭の父、または母及び児童等に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成します。<br>【保険年金課】 |

## （2）健康づくりへの支援

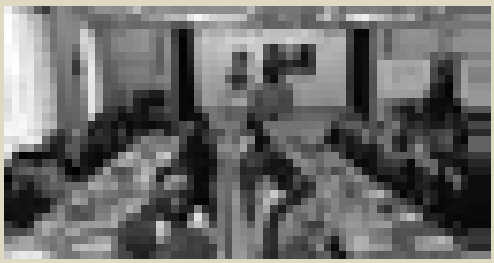
| | |
|---|---|
| 健康づくり100日運動<br>58万円 | 「健康・スポーツ都市宣言」に基づいて、運動やスポーツの習慣化を図ることを目的に、1日30分以上の継続した運動や、スポーツを1年間に100日実施する市民運動を推進します。<br>【スポーツ振興課】 |
| 健康増進事業（各種検診事業）<br>1億4,092万円 | 生活習慣改善に対する自覚を持つことによる健康の保持及び増進を図るため、健康診査を実施します。<br>また、疾病の早期発見・早期治療を促進することを目的に、各種がん検診、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検診を実施します。<br>【健康づくり課】 |
| 元気磨きたい活動推進事業<br>60万円 | 「燕市健康増進計画」に基づき、健康づくりの源を地域に広めるプロジェクト活動「元気磨きたい」の活動を、さらに燕市全体に広めていきます。<br>8つのプロジェクトが行う食・運動・地域探索・劇など、燕市を元気で健康なまちにする活動を推進します。<br>【健康づくり課】 |
| スポーツ教室開催事業<br>411万円 | 市民の健康づくり並びにスポーツの振興を目的に、各地域において、スポーツ教室やスポーツイベントを開催します。<br>【スポーツ振興課】 |
| 【★新規】<br>総合型地域スポーツクラブ推進事業<br>500万円 | 市民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる「生涯スポーツ社会」の実現を目指して、3地区における総合型地域スポーツクラブの創設や運営を支援します。<br>【スポーツ振興課】 |



## （3）介護・高齢者への支援

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>第5期介護保険事業計画策定事業<br>《介護保険事業特別会計》 260万円 | 高齢者を取り巻く現状及び課題、ニーズを的確に捉え、高齢者が安心して介護保険制度を利用できるようにするため、24年度～26年度の3年間の「第5期介護保険事業計画」を策定します。そして、高齢者が住み慣れた地域で、快適な生活が営めるよう、総合的な福祉の増進に努めます。<br>【福祉課】 |
| 【★新規】<br>高齢福祉の在り方の研究<br>（政策調査研究費）<br>11万円 | 高齢福祉に関する総合的な施策を展開していくため、研究会を立ち上げ、以下の調査研究を行います。<br>・買い物弱者などを地域で支え合う共助システムの構築<br>・公共交通機関やデマンド交通システムの整備<br>・高齢者にやさしい文書、窓口対応の在り方　など<br>【企画財政課】 |

| | |
|---|---|
| **緊急通報システム設置事業**<br>598万円 | 急病などの緊急時に迅速な対応を図るため、65歳以上のひとり暮らしの高齢者等で、一定の要件に該当する方に、押しボタン式の「緊急通報装置」を無償で貸与します。<br>【福祉課】 |
| **在宅介護手当費（寝たきり老人）**<br>1億6,026万円 | 介護保険の在宅サービスの利用促進を図るため、要介護または要支援認定を受けた方が、在宅において介護又は支援を受けている場合に「在宅介護手当」を支給します。<br>【福祉課】 |
| **介護保険低所得利用者対策扶助事業**<br>1,400万円 | 介護保険サービスの利用を促進し、経済的負担の軽減を図るため、社会福祉法人が、一定の要件を満たす低所得者に対して、介護保険サービスの利用者負担の軽減を行った場合に、市が社会福祉法人に対して軽減した額の一部を助成します。<br>【福祉課】 |
| **高齢者インフルエンザ予防接種事業**<br>4,621万円 | 高齢者の発症防止や重症化防止のため、65歳以上の高齢者及び60歳以上65歳未満の方で、心臓、腎臓、若しくは呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障がいのある方へのインフルエンザ予防接種に要する費用の一部を助成します。<br>【健康づくり課】 |
| **敬老事業**<br>1,016万円 | 長年にわたり社会に貢献してきた方々の長寿を祝うため、米寿、95歳、100歳の方へ敬老祝い金を支給します。<br>また、吉田、分水地区における敬老会事業をまちづくり協議会へ委託し、地域ごとに敬老会を開催します。<br>【福祉課】 |



## （4）障がい者への自立支援

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>**障がい者基本計画及び<br>障がい福祉計画策定事業**<br>270万円 | 障がい者を取り巻く現状及び課題、ニーズを的確に捉え、障がい者が安心して福祉サービスを利用できるようにするため、「障がい者基本計画」及び「障がい福祉計画」を策定します。そして、誰もがふれあい、支えあい、助けあい、共に生きる福祉のまちづくりを目指します。<br>【福祉課】 |
| 【★新規】<br>**障がい者社会福祉施設整備費補助金**<br>1,000万円 | 障がい福祉サービスの基盤整備を促進するため、社会福祉法人等が行う障がい福祉施設の整備に要する経費に対し補助します。<br>【福祉課】 |
| **重度心身障がい者医療費助成事業**<br>1億5,525万円 | 障がい者の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的に、重度（身障者手帳1・2・3級、療育手帳A）の心身障がい者に対し、医療費の自己負担額から一部負担金を除いた額を助成します。<br>【保険年金課】 |
| **精神障がい者医療費助成事業**<br>4,821万円 | 精神障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、精神障がい者の医療費自己負担額の2/3を助成します。<br>【保険年金課】 |

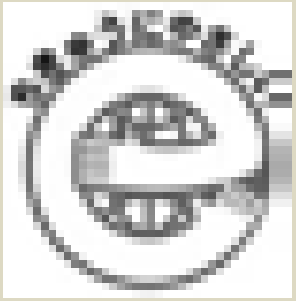
# 【基本施策4】 生活環境・都市基盤の整備

～快適で住みよい生活環境や
都市基盤の整備などにも計画的に取り組んでいきます～

## 1. <環境にやさしく、快適で住みやすいまちづくり>

市民の皆さんが快適かつ安全に暮らすため、生活環境の充実を図ります。

23年度は、環境にやさしい生活への転換を促進するため、「新エネルギー設備費用」の一部助成をスタートします。巡回バスについては、運行の在り方を研究し、利用者の利便性向上を図ります。また、火葬場の環境アセスメント等にも着手します。



### （1）環境にやさしい社会の構築

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>新エネルギー普及促進事業<br>932万円 | 温室効果ガスの削減や環境にやさしい生活への転換を促進するため、個人及び事業所で購入する電気自動車や太陽光発電等の新エネルギー設置費用の一部を助成します。<br>また、啓発用車両として電気自動車を1台購入します。<br>【生活環境課】 |
| 公共下水道の整備<br>《公共下水道事業特別会計》 15億3,040万円 | 公共下水道の普及率向上を目指し、下水道管布設工事を約8,900m（受益面積31ha）行い、整備の促進を図ります。<br>【下水道課】 |
| 下水道施設の長寿命化<br>《公共下水道事業特別会計》 1億9,005万円 | 施設の長寿命化を目指し、終末処理場と幹線管渠（合流管）の長寿命化計画を策定します。<br>また、22年度に引き続き、終末処理場汚泥脱水設備の改築更新工事を行います。<br>【下水道課】 |

### （2）公共交通の整備

| | |
|---|---|
| 巡回バス運行事業<br>3,424万円 | 高齢者などの交通手段を持たない方々に対し、交通手段を提供し、暮らしやすい環境を確保するため、循環・巡回バスの運行を行います。<br>また、地域のニーズに応じたバス路線の確保や市民の利便の増進を図るため、「燕市地域公共交通会議」を設置し、新庁舎建設時を見据えたバス運行コースや時刻表などの見直しの検討を行います。<br>【生活環境課】 |

### （3）防災体制の強化

| | |
|---|---|
| 自主防災組織資機材整備費補助金<br>100万円 | 自主防災組織の組織率向上と組織の育成を図るため、1組織1回限定で、防災資機材購入費用の1/2（20万円を限度）を補助します。<br>【総務課】 |
| 防災訓練・防災リーダーの育成<br>ゼロ予算事業 | 例年の防災センターを会場とした防災訓練を実施するとともに、地域の防災態勢を確立するため、自主防災組織等との共催で、指定避難施設を会場に避難誘導訓練を中心とした地域防災訓練を実施します。<br>また、地域の防災活動に必要なリーダーとなるべき人材の育成を図るため、防災リーダー講習会を実施します。<br>【総務課】 |

### （4）火葬場・一般廃棄物最終処分場の整備

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>火葬場建設特別負担金<br>1,973万円 | 火葬炉の老朽化により新たに火葬場を建設するため、燕・弥彦総合事務組合が実施する環境アセスメント、都市計画決定事業等について負担します。<br>【生活環境課】 |
| 一般廃棄物最終処分場増設事業費<br>特別負担金<br>5億544万円 | 廃棄物の処理を円滑に行うことを目的に、現在の舘野クリーンセンターの隣接地に施設を増設するため、燕・弥彦総合事務組合が実施する本体造成及び水処理施設増設事業について負担します。<br>【生活環境課】 |

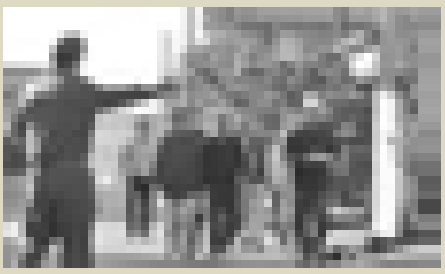
## 2.〈利便性が高く、機能的なまちづくり〉

市民生活の基盤である「道路網整備」を計画的に推進していきます。

23年度は、橋や公園施設の老朽化に伴う修繕改修費用の低減を図るため、「橋梁及び公園施設の長寿命化計画」を策定します。

### （1）道路網の整備

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>橋梁長寿命化修繕計画策定事業<br>525万円 | 市道橋の適正管理に向けた補修費用の低減及び計画的な修繕を行うため、「橋梁長寿命化修繕計画」を策定します。（609箇所を修繕）<br>【土木課】 |
| 【★新規】<br>中央通佐渡線他雪寒事業<br>5,500万円 | 冬期間の緊急車両通行や歩行者の安全性・利便性を図るため、燕労災病院から東郵便局までの間の消雪パイプの布設（約1,540m）を行います。<br>【土木課】 |
| 【★新規】<br>新生町佐渡線歩道整備事業<br>2,200万円 | 佐渡橋両岸取付道路において、歩行者等の安全性を図るため、歩道整備全体延長約250mの詳細設計及び右岸側（東町側）の整備工事約130mを行います。<br>【土木課】 |
| 八王寺横田堤防線道路改良事業<br>6,700万円 | 主要地方道燕地蔵堂線のバイパスとして、熊森から横田地区間、延長1300mのうち約700mの道路整備を行い、23年度中の事業の完了を目指します。<br>【土木課】 |
| 吉田95号線道路整備事業<br>1億9,750万円 | 吉田駅前市街地と吉田北地区を結び、安全性・利便性等の向上を目的とした基幹道路としての整備を行うため、引き続き用地買収を行います。<br>【土木課】 |
| 八王寺佐渡線道路改良事業<br>8億9,900万円 | 中央通りと燕労災病院を結ぶ路線の幅員が狭く、車両制限していることから、弥彦線との立体交差工事と道路改良工事（約600m）を行い、23年度中の事業の完了を目指します。<br>【都市計画課】 |



## （2）住みよい住環境の整備

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>公園施設長寿命化計画策定事業<br>820万円 | 公園施設の老朽化に伴い、安全性の確保や費用の縮減を図るため、「公園施設長寿命化計画」を策定します。<br>【都市計画課】 |
| 住宅リフォーム助成事業<br>《再掲》 5,000万円 | 市内の建築関連業者の工事受注の機会を増進させ、緊急的な経済効果を発揮させるため、個人住宅のリフォーム工事費用の一部を助成します。<br>・工事費用　20万円以上<br>・助成率　工事費用の　10%<br>・助成上限額　10万円<br>【営繕建築課】 |
| 【★新規】<br>社会資本総合整備計画策定事業<br>504万円 | 地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを実現するため、新たに須頃郷地区を地区設定し、排水対策事業や公園整備事業を実施する「社会資本総合整備計画」を策定します。<br>【都市計画課】 |

## 3. <生涯学習への支援>

市民の皆さんが、より豊かな知識や教養を育むため、「図書館の蔵書充実」を図ります。また、伝統ある歴史文化を継承する「旧配水塔の改修工事」に着手するとともに、総合文化センターの駐車場不足を解消するため、用地を購入し、「駐車場の拡張」を行います。

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>総合文化センター再整備事業<br>9,618万円 | 文化会館・中央公民館の駐車場不足を解消するため、新たに用地を購入し、駐車場の拡張整備を行い、施設利用者の利便性の向上を図ります。<br>【生涯学習課】 |
| 【★新規】<br>絵画活用事業<br>43万円 | 横山操画伯の本画5点の修復が終わることから、産業史料館において展示会を開催し、文化振興に努めます。<br>【生涯学習課】 |
| 【★新規】<br>家庭教育推進事業<br>25万円 | 子どもたちの豊かな心を育てる「心の燕市8つのチャレンジ」活動を地域・家庭において定着させ推進するため、市内のＰＴＡや保護者会とともに講演会などを開催しま<br>【生涯学習課】 |
| 【★新規】<br>文化活動支援事業助成金<br>150万円 | 市民の文化への関心を高め、より一層の文化振興を図るため、自主的な文化活動を行う市民団体に対して助成します。<br>【生涯学習課】 |
| 旧配水塔改修事業<br>1億270万円 | 上水道の普及とともに発展してきたまちの歴史・文化的意義を、地域や子どもたちに伝えていくため、燕市のシンボルとして親しまれている「旧配水塔」を改修し、登録有形文化財として保存します。<br>【生涯学習課】 |
| 図書館蔵書充実事業<br>《H22 国の経済対策による繰越事業》<br>1,250万円 | 知の地域づくりの機運醸成と情報拠点である図書館を魅力ある蔵書で充実させるため、図書を購入します。<br>【生涯学習課】 |

## 4. 〈新庁舎建設〉

現3庁舎の老朽化・耐震性等の問題と分庁舎方式による弊害を解消し、市民サービスの向上を図るとともに、効率的な行財政運営の実現に向けて、今後も新庁舎建設事業の円滑な推進に努めていきます。

23年度からは、いよいよ建設工事に着手します。2か年継続で工事を実施しながら、オフィス環境整備業務をはじめとした諸準備を進め、24年度末の施設の完成、25年度早期の移転開庁を目指します。

| | |
|---|---|
| 新庁舎建設事業<br>8億8,602万円 | 25年度早期の新庁舎への移転を目指し、本年度から2か年で建設工事に取り組みます。また、オフィス環境整備業務で、内部レイアウトや備品整備等の詳細について検討を進めます。<br>【管財課】 |

# 【基本施策5】 行財政改革の推進

～政策官庁を目指すとともに、効率的な行政運営に努めます～

## 1. ＜財政の健全化＞

事業の検証と「スクラップ・アンド・ビルド」を基本とするとともに、公共施設の適正配置等を図り、財政の健全化に努めていきます。

23年度は、「電子入札システム」を導入するとともに、コストの削減、市民サービスの向上を図るため、「情報システム」の再構築を実施します。

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>情報システム開発管理業務委託事業<br>7億5,300万円 | ITコストの削減と市民サービスの向上、業務の効率化、情報セキュリティ水準の向上のため、情報システムの再構築等を行います。<br>【総務課】 |
| 【★新規】<br>電子入札システムの導入<br>1,183万円 | 事務の簡素化や入札に要する費用の縮減及び入札における公正な競争の促進を図るため、「電子入札システム」を導入します。<br>【管財課】 |

## 2. ＜行政運営の見直し＞

政策官庁を目指すため、23年度も「月例政策研究会」を開催し、職員能力向上を積極的に行っていきます。また、市民活動の活性化を図るため、NPO団体等への「イキイキまちづくり支援事業」を拡充するとともに、引き続き、まちづくり協議会への支援を行います。さらに、今後5年間の「男女共同参画推進プラン」の策定に着手します。

| | |
|---|---|
| 月例政策研究会・重要課題の調査研究<br>（政策調査研究費）<br>198万円 | 社会・経済情勢を的確に把握し、市の政策に反映させるため「月例政策研究会やセミナー」を開催します。<br>また、市の重要課題を解決するため、プロジェクトチームを立ち上げ調査研究を行います。<br>【企画財政課】 |
| 協働のまちづくり推進事業<br>25万円 | 市民参画と協働によるまちづくりを進めるため、「まちづくり基本条例（案）」に定める事項の普及を図るとともに、「協働フォーラム」を開催します。<br>【企画財政課】 |
| 【拡充】<br>イキイキまちづくり支援事業<br>（旧NPO活動等支援事業）<br>503万円 | 公益的な市民活動の活性化を図るため、行政と協働でまちづくりを進める団体が実施する事業に対し、事業費の助成や情報提供等の支援を行います。<br>【地域振興課】 |

| | |
|---|---|
| **まちづくり協議会支援事業**<br>**1,789万円** | 地域住民自らの手による地域づくりと、地域における協働を推進するため、「まちづくり協議会」の活動に対し、活動費の補助や情報提供等の支援を行います。<br>【地域振興課】 |
| **郵便局における住民票等の発行業務**<br>**162万円** | 市民の利便性向上を図るため、郵便局における住民票等の発行業務を、現行の小池・小中川・神田町・国上・燕南郵便局の5郵便局のほか、23年度から「燕郵便局」でも業務を開始します。<br>【市民課】 |
| **【★新規】**<br>**文書管理システム再構築事業**<br>**320万円** | 公文書の適正かつ効率的な処理や事務の効率化を図るため、現有文書の整理・削減に向けた取り組みを行うとともに、今後の文書管理の在り方を検討します。<br>【総務課】 |
| **男女共同参画推進プラン作成事業**<br>**《H22 繰越事業》**<br>**200万円** | 男女共同参画社会の実現に向けて、燕市が取り組むべき施策を総合的かつ計画的に推進するため、男女共同参画の指針である「第2次男女共同参画推進プラン」を作成します。<br>【地域振興課】 |

# 【基本施策6】 燕はひとつプロジェクト事業

～合併5周年を迎え、燕はひとつプロジェクト事業に取り組みます～

今年は、「合併5周年」の節目の年です。これを契機として、市民の誰もが参加でき、みんなの心がひとつになれるもの、そして今後の燕市の新たな文化として根付いていくことができるものとして、次の「燕はひとつプロジェクト事業」に取り組みます。

| | |
|---|---|
| 【★新規】<br>YOU-GO（融合）支援事業<br><br>256万円 | 市内の各地区単位で活動している団体・組織・イベント等をひとつにする取り組みなどに支援を行い、燕市の一体感の醸成を図ります。<br>・「燕はひとつ推進団体」として認定<br>・活動に対する補助金の交付（支援対象活動）<br>・競技大会等の表彰用品の交付<br>【地域振興課】 |
| 【★新規】<br>夏まつり交流促進事業<br><br>100万円 | 各地区の夏まつりやイベント等において、市民の相互交流を促進していきます。さらに、新しい踊りや太鼓なども検討し、23年度は、子どもから大人まで誰でも踊ることができる、新しい「よさこい」を創作します。<br>【商工振興課】 |
| 【★新規】<br>燕ジュニア検定事業<br><br>359万円 | 小学校の子どもたちを対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定」を実施します。23年度は、問題集の作成に取り組みます。<br>【学校教育課】 |
| 【★新規】<br>つばめっ子かるた作成事業<br><br>930万円 | 未来を担う子どもたちに燕市のことをよく知ってもらうため、保育園・幼稚園児などを対象とした、遊びを通じて市内の風物・歴史などを学んでもらうことのできる「つばめっ子かるた」を作成します。<br>【子育て支援課】 |
| 【★新規】<br>『笑顔を忘れないで』普及プラン<br><br>ゼロ予算事業 | 難病を患い17歳の若さで亡くなった燕市の少女が書いた詞に、山形の音楽家がメロディーをつけたものが、「笑顔を忘れないで」という合唱曲になっています。歌詞に込められた「思いやりの心、生きる勇気、感謝の気持ち」などを未来を担う子どもたちから学んでもらうため、市内全小学校で歌うことから始め、全市民に広めていきます。<br>【学校教育課】 |

## 平成 23 年度の燕市は「節目の年」

1. 燕市で「金属洋食器」が製造されて 100 周年!!
2. 大河津分水「可動堰」完成から 80 年!!
3. 絢爛豪華な「分水おいらん道中」は第 70 回!!
4. 燕・吉田・分水が合併して 5 周年!!